



未来とよなか 志民だより  
豊中市議会議員（無所属）  
北ノ坊しんじ

## 12月議会報告

一般質問から

### 豊中市の少子化対策に関する認識について

私は以前より、今日本が直面している様々な社会的課題の原因の多くが少子化に起因しているという考えを持っていました。最近でこそ当たり前のように言われるようになりましたが、年金をはじめとする社会保障の問題や、近年顕著になりつつある労働力不足、一部にしか実感されていない景気回復等々、急激な少子化がもたらしている影響ははかり知れません。

少子化対策は国においてもこれまで様々な名称で取り組まれてきていますが、目立った効果を上げているものはあまりありません。なぜかというところ、もっとも取り組まなければならない課題に対して取り組んでこなかったからだと言われています。それは、『若者の未婚対策』であります。なぜそこに取り組んでこなかったかと言えば、個人の生き方・価値観に大きく関わるため、あるいは国や行政が号令をかけることに戦前の軍国主義的思想を感じ取る方々が少なからず存在するためともいわれています。しかし、近年、様々な分野で言われる「持続可能な社会」の基礎は、次代の社会を担う子どもたちがいてこそ実現

### 北ノ坊しんじ プロフィール

生 年：昭和49年（1974年） 豊中生まれ 妻、子供4人の6人家族

出身校：市立克明小・市立豊中五中・府立豊中高・立命館大・立命館大学院（経営学修士）

議会歴：平成19年初当選（現在2期目）

環境福祉常任委員長・各常任委員会委員・空港問題調査特別副委員長・老人ホーム組合議会議員等を歴任

現役職：文教常任委員会委員・空港問題調査特別委員会委員・豊中市農業委員会委員

その他：おかまちまちづくり協議会運営委員・ボーイスカウト豊中18団副団委員長兼ローパー隊長・豊議会（豊中高校同窓会）評議員・立命館大学北摂校友会幹事 など

できるものである、というシンプルな考えに立ち戻って、「結婚したい人が結婚でき、子どもの欲しい人が子どもを産み育てられる」という個人の願いが叶う社会にしていくための対策を講じる必要があると考えています。

おりしも、平成26年に内閣府から発行された『少子化社会対策白書』において、緊急対策として、従来からの「子育て支援」、**「働き方改革」**に加えて、「結婚・妊娠・出産支援」という言葉が初めて用いられました。国においては今までよりも踏み込んだ対策が必要だという認識に至ったわけですが、そのことに対する市の認識と、市の総合計画では対策が不明確なので位置づけについて問いました。

市からは、今回の私からの指摘をふまえて、現在点検・見直し作業を進めている市の総合計画に結婚から育児までの切れ目のない支援を含めた少子化対策を位置づけることを約束してもらいました。また、結婚・妊娠・出産支援が新たに追加されたことをふまえてどのような取り組みが想定できるかという問いに対しては、結婚や妊娠を希望する人の希望が叶うよう相談支援や、結婚や妊娠前の段階からの結婚・妊娠・出産・育児に関する知識や体験ができる講座等を通じた啓発・情報提供などを想定し研究していくと答弁。さらに、どのような組織・体制で取り組んでいくかという問いに対しては、結婚からの切れ目のない少子化対策も子ども関連施策として、全庁的組織である「子ども施策推進本部会議」において取り組んでいくと答弁。三つ目の問いに関しては、本来であれば既存の部署名を挙げて責任の所在を明確にしてほしかったのですが、ちょうどこの12月議会において来年度からの市役所の組織見直しの議案が出ており、可決された後でしたので市としても答えにくかったということが本音と思われる。

いずれにしましても、今回、市が初めて結婚からの切れ目のない支援が少子化対策に必要であるという認識を持ってくれたことは一歩前進であると思います。今後、これに沿った具体的な取り組みを提言していきたいと思っています。

ご意見・ご質問・ご感想は下記まで

北ノ坊しんじ事務所 (月～木あさ10時～夕方5時まで、祝日休み)

〒561-0885 豊中市岡町10-10

電話06-6857-7620 FAX: 06-6857-4814

E-mail: shinji@kitanobo.net (FAX番号変わりました)